



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日  
東

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所  
 コード番号 8789 URL <https://www.fgi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 千田 高 (TEL) 03-6456-4600  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	6,911	2.4	1,142	661.0	1,084	851.1	781	—
2022年9月期第3四半期	6,749	5.3	150	△67.7	114	△73.9	△140	—

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 1,079百万円(—%) 2022年9月期第3四半期 91百万円(△68.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年9月期第3四半期	円 銭 3.88	円 銭 3.87
2022年9月期第3四半期	△0.70	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年9月期第3四半期	百万円 18,574	百万円 8,678	% 40.1
2022年9月期	17,933	7,842	36.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 7,453百万円 2022年9月期 6,585百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期(予想)				—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2023年9月期の期末配当予想は未定としております。

## 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	2.1	1,400	138.2	1,400	158.8	1,500	751.7	7.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年9月期3Q	201,305,200株	2022年9月期	201,295,200株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	20株	2022年9月期	20株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年9月期3Q	201,303,037株	2022年9月期3Q	201,240,893株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、投資銀行事業において事業承継問題を抱える企業を対象に財務アドバイザーやアセットマネジメントなどを提供する事業承継ソリューション業務受託と、これらの企業を投資対象とするプライベートエクイティ投資（以下、「PE投資」）を推進しました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、第1四半期に㈱ライツ・アンド・ブランズ（以下、「RBJ」）を連結の範囲から除外し持分法適用関連会社としたものの、事業承継ソリューション業務受託とPE投資の回収が順調に進捗したことにより業務受託収益及び投資収益が増加し、航空機アセットマネジメントも好調に推移したことにより、売上高は6,911百万円（前年同期比2.4%増）、売上総利益は3,839百万円（前年同期比43.2%増）となりました。販売費及び一般管理費は、事業拡大のための人員拡充や業務の外部委託の増加などにより前年同期比6.5%増の2,696百万円となりましたが、営業利益は売上総利益の増加により1,142百万円（前年同期比661.0%増）、経常利益は1,084百万円（前年同期比851.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、㈱トリニティジャパンの連結子会社化に伴う負ののれん発生益190百万円を特別利益に計上したことにより、781百万円（前年同期は140百万円の損失）となりました。

（単位：百万円）

	2022年9月期 第3四半期 連結累計期間	2023年9月期 第3四半期 連結累計期間	増減額
売上高	6,749	6,911	161
投資銀行事業	3,461	5,081	1,620
公共コンサルティング事業	263	248	△15
エンタテインメント・サービス事業	3,252	1,796	△1,456
消去	△228	△214	13
売上総利益	2,680	3,839	1,158
投資銀行事業	1,855	3,541	1,686
公共コンサルティング事業	143	136	△6
エンタテインメント・サービス事業	777	258	△518
消去	△95	△98	△3
営業利益 (セグメント利益又はセグメント損失(△))	150	1,142	992
投資銀行事業	570	1,948	1,378
公共コンサルティング事業	△1	△41	△40
エンタテインメント・サービス事業	6	△224	△230
消去又は全社費用	△425	△539	△114
経常利益	114	1,084	970
税金等調整前四半期純利益	129	1,250	1,121
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140	781	922

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

#### ① 投資銀行事業

投資銀行事業では、事業承継ソリューション業務受託において案件組成が順調に進捗し、PE投資の新規実行が増加するとともに、組成した投資案件の売却も進みました。この結果、組成ファンドのアセットマネジメント受託によるアップフロントフィーや期中管理報酬、成功報酬等の業務受託収益が前年同期比で増加するとともに、PE投資の回収による投資収益も増加しました。投資運用業務においては、海外機関投資家からレジデンス向け投資のアセットマネジメントを受託し収益を計上しておりますが、預り資産残高は前連結会計年度末比48.7%増の835億円となり、ストック型収益の基盤が強化されました。また航空機アセットマネジメントにおいては、コロナ禍の沈静化により機体検査や機体返還などの技術サービスは減速したものの高水準の売上を維持しており、航空

機登録の増加や航空機リマーケティングなどの新たな取り組みにより好調に推移しました。

以上の結果、投資銀行事業の売上高は5,081百万円（前年同期比46.8%増）、セグメント利益は1,948百万円（前年同期比241.7%増）となりました。

## ② 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業では、財務書類作成のコンサルティングについて大規模自治体を軸に営業活動を推進していますが、令和5年度（2023年4月～2024年3月）における都道府県の財務書類作成受託件数は前年度と比べ1件増加し9件、政令指定都市・特別区については前年度と変わらず11件となり堅調に推移しました。また、公共施設等総合管理計画の見直しに関しては、総務省は見直しが未完了の地方公共団体は2024年3月末までに完了とすることとしているため、見直しを支援する業務について積極的に営業活動を推進しました。

公共コンサルティング事業の売上高は、国が各自治体に配布した公会計ソフトのサポート終了に伴って発生した提携先のソフト販売があった前第3四半期連結累計期間に比べ5.9%減少し248百万円となり、セグメント損益は受注拡大のための先行投資により費用が増加した結果、41百万円のセグメント損失（前年同期は1百万円の損失）となりました。

## ③ エンタテインメント・サービス事業

メッツァ（メッツァビレッジ及びムーミンバレーパーク）は、来園者数が前年同期比13.7%減の50万人となりましたが、ムーミンバレーパークの入園料金を改定したほか物販・飲食の顧客単価が上昇したことにより、メッツァ関連の売上高は前年同期比3.6%減の1,796百万円に留まりました。

ライセンス関連については、同業務により前第3四半期連結累計期間に売上高1,390百万円を計上していたRBJを第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外し持分法適用の範囲に含めることとしたため、同社業績については当セグメントでは計上せず、営業外損益において持分法による投資損益として計上しております。なお、当社は2023年7月13日開催の取締役会において、㈱ムーミン物語が保有するRBJの全株式を㈱松屋に譲渡することを決議しました。当該決議に基づき、㈱ムーミン物語は同日付で株式譲渡契約を締結し、2023年7月14日付で当該株式を譲渡しました。これにより、RBJは第4四半期連結会計期間より当社の持分法適用の範囲から除外されます。

以上の結果、エンタテインメント・サービス事業の売上高は1,796百万円（前年同期比44.8%減）、セグメント損失は224百万円（前年同期は6百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 総資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より3.6%増加し、18,574百万円となりました。これは主として、ムーミンバレーパークの建物、内外装等の減価償却等により有形固定資産が262百万円、RBJを連結の範囲から除外したことにより無形固定資産のその他に含まれる商標権が333百万円減少したものの、現金及び預金が145百万円、新規投資やPE投資先のファンドが投資回収に至ってファンドの価値が向上したことにより営業投資有価証券が496百万円、RBJを連結の範囲から除外し持分法適用の範囲に含めたことなどにより投資有価証券が698百万円増加したことによるものであります。

### ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より1.9%減少し、9,896百万円となりました。これは主として、短期借入金が68百万円、繰延税金負債が104百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が23百万円、流動負債のリース債務が57百万円、固定負債のリース債務が95百万円減少したことによるものであります。

### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より10.7%増加し、8,678百万円となりました。これは主として、非支配株主持分が51百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を781百万円計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

なお、2022年12月22日開催の定時株主総会の決議に基づき、資本金1,098百万円、資本準備金4,036百万円を減

少させ、その他資本剰余金に振り替えるとともに、利益準備金を47百万円減少させ、増加したその他資本剰余金とともに繰越利益剰余金に振り替えて欠損填補に充当しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	2023年9月期 期初予想 (2022年11月8日公表)	2023年9月期 修正予想 (2023年7月13日公表)	増減額	増減率	(参考) 前期実績
売上高	10,100	9,500	△600	△5.9%	9,301
営業利益	1,400	1,400	—	—	587
経常利益	1,400	1,400	—	—	540
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000	1,500	500	50.0%	176

当社は、2022年11月8日に公表しました2023年9月期の連結業績予想を、上記の通り2023年7月13日に修正しましたが、修正後の予想値について変更はありません。上記修正の詳細については、2023年7月13日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,375,927	2,521,120
受取手形、売掛金及び契約資産	1,113,702	916,782
営業投資有価証券	2,482,469	2,979,250
営業貸付金	371,665	349,815
販売用不動産	4,057,167	4,057,167
商品	133,602	159,994
その他	593,045	704,914
貸倒引当金	△104,772	△99,157
流動資産合計	11,022,806	11,589,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,390,285	5,375,500
減価償却累計額	△717,453	△852,409
建物及び構築物（純額）	4,672,832	4,523,091
その他	1,205,951	1,093,332
有形固定資産合計	5,878,784	5,616,423
無形固定資産		
のれん	117,736	103,088
その他	514,765	37,930
無形固定資産合計	632,501	141,018
投資その他の資産		
投資有価証券	105,581	804,266
長期貸付金	35,004	18,755
繰延税金資産	11,364	96,929
その他	257,016	306,791
貸倒引当金	△10,047	△33
投資その他の資産合計	398,918	1,226,709
固定資産合計	6,910,204	6,984,151
資産合計	17,933,011	18,574,037

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	248,274	224,539
短期借入金	—	68,354
1年内返済予定の長期借入金	529,252	6,034,647
未払法人税等	133,150	119,039
リース債務	260,095	202,503
賞与引当金	191,888	205,129
その他	1,225,164	930,760
流動負債合計	2,587,825	7,784,972
固定負債		
長期借入金	7,184,342	1,500,646
リース債務	158,022	62,188
繰延税金負債	19,737	124,362
退職給付に係る負債	110,067	125,223
その他	30,322	298,606
固定負債合計	7,502,492	2,111,028
負債合計	10,090,317	9,896,000
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,471,266	5,372,574
資本剰余金	4,996,716	974,443
利益剰余金	△4,943,941	973,209
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,524,040	7,320,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,680	95,940
為替換算調整勘定	26,158	37,279
その他の包括利益累計額合計	61,839	133,220
新株予約権	56,359	75,843
非支配株主持分	1,200,454	1,148,746
純資産合計	7,842,693	8,678,037
負債純資産合計	17,933,011	18,574,037



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,749,519	6,911,192
売上原価	4,068,821	3,072,185
売上総利益	2,680,698	3,839,006
販売費及び一般管理費	2,530,517	2,696,087
営業利益	150,180	1,142,918
営業外収益		
受取利息	1,292	3,216
為替差益	12,505	—
持分法による投資利益	8,435	33,940
助成金収入	37,199	26,774
その他	4,978	2,340
営業外収益合計	64,410	66,271
営業外費用		
支払利息	87,121	96,953
為替差損	—	20,228
貸倒引当金繰入額	11,009	△40
その他	2,442	7,576
営業外費用合計	100,573	124,718
経常利益	114,017	1,084,472
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,000
負ののれん発生益	—	190,025
新株予約権戻入益	16,478	273
その他	—	96
特別利益合計	16,478	198,394
特別損失		
関係会社出資金評価損	999	—
固定資産除却損	—	32,369
関係会社清算損	362	—
特別損失合計	1,362	32,369
税金等調整前四半期純利益	129,133	1,250,497
法人税、住民税及び事業税	133,656	250,403
法人税等調整額	△49,119	1,749
法人税等合計	84,537	252,153
四半期純利益	44,596	998,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	185,454	216,613
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140,857	781,731

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	44,596	998,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,393	60,259
為替換算調整勘定	23,379	20,619
その他の包括利益合計	46,773	80,879
四半期包括利益	91,369	1,079,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△103,546	853,112
非支配株主に係る四半期包括利益	194,916	226,111

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

#### 1 配当金支払額

該当事項はありません。

#### 2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

#### 1 配当金支払額

該当事項はありません。

#### 2 株主資本の著しい変動

当社は、2022年12月22日開催の第28期定時株主総会において、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議し、2023年1月27日にその効力が発生しました。これにより、資本金が1,098,930千円、資本準備金が4,036,488千円減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、利益準備金が47,303千円減少し、繰越利益剰余金に振り替えました。

また、増加したその他資本剰余金5,135,419千円を繰越利益剰余金に振り替え、繰越利益剰余金の欠損を填補しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が5,372,574千円、資本剰余金が974,443千円、利益剰余金が973,209千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する前提についての重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,290,136	254,885	3,204,497	6,749,519	—	6,749,519
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	171,204	9,000	48,134	228,339	△228,339	—
計	3,461,341	263,885	3,252,631	6,977,858	△228,339	6,749,519
セグメント利益 又は損失(△)	570,245	△1,045	6,027	575,228	△425,047	150,180

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△425,047千円には、セグメント間取引消去215,460千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△640,508千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,933,244	239,225	1,738,721	6,911,192	—	6,911,192
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	148,414	9,000	57,283	214,697	△214,697	—
計	5,081,658	248,225	1,796,005	7,125,889	△214,697	6,911,192
セグメント利益 又は損失 (△)	1,948,781	△41,896	△224,690	1,682,194	△539,275	1,142,918

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△539,275千円には、セグメント間取引消去177,893千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△717,169千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

投資銀行事業セグメントにおいて、第2四半期連結累計期間より㈱トリニティジャパンの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は190,025千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(重要な後発事象)

(持分法適用関連会社の異動)

当社は、2023年7月13日開催の取締役会において、当社の連結子会社である㈱ムーミン物語（以下、「ムーミン物語」）が保有する持分法適用関連会社である㈱ライツ・アンド・ブランズ（以下、「RBJ」）の全株式を譲渡することを決議しました。当該決議に基づき、ムーミン物語は同日付で株式譲渡契約を締結し、2023年7月14日付で当該株式を譲渡しました。これにより、RBJは当社の持分法適用の範囲から除外されます。

(1) 株式譲渡の理由

ムーミン物語がムーミンバレーパークの一層の魅力向上と、認知の拡大に向けた設備投資やイベント・広報等を強化する資金を確保すべくRBJの全株式を譲渡する判断に至りました。

(2) 株式譲渡の相手先の名称

㈱松屋

(3) 持分法適用関連会社の名称、事業内容及び会社との取引内容

名称	㈱ライツ・アンド・ブランズ
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内におけるムーミンのライセンス管理</li> <li>・TVアニメ「ムーミン谷のなかまたち」の映像配給</li> </ul>
会社との取引内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社による経営指導料の授受</li> <li>・当社の連結子会社であるムーミン物語によるライセンス料の支払い</li> </ul>

(4) 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式数の状況

異動前の所有株式数	178株（議決権所有割合：42.3%）
譲渡株式数	178株
譲渡価額	680百万円
異動後の所有株式数	0株（議決権所有割合：0%）

(5) 株式譲渡日

2023年7月14日

(6) 今後の見通し

本株式譲渡により、当社は連結決算において特別利益に関係会社株式売却益386百万円を計上する見込みであります。